

2024年2月6日開催 2024年3月期第3四半期決算説明会での主な質疑応答

Q1 第3四半期業績を踏まえ、今期業績および来期業績予想水準をどのように考えているか。

第4四半期以降も、第3四半期までのモメンタムを維持することが重要と考えている。この為、マーケティング投資を含めた各施策は予定通り実行する見込み。成長戦略における3年間のガイドラインも踏まえ、来期もモメンタムを継続し、利益成長を目指す。

Q2 第4四半期に実施予定のマーケティング投資の目的は何か。

第3四半期では、マーケティング投資を効果的に実施したことで、スナック全体で強いモメンタムを作り出してきた。来期の価格改定に備え、第4四半期も引き続きマーケティング投資を行い、需要を喚起することで計画した販売数量を確保していく。

Q3 来期の価格改定幅の平均はどのくらいを想定しているか。

現在来期の計画において詳細検討中。当期および来期の価格改定により、原材料価格上昇等のコスト負担を吸収する想定。

Q4 中華圏事業の来期の見通しをどのように考えているのか。

中華圏は厳しい状況が続いており、短期間での売上高の回復は難しいと考えている。特に中国の消費者のデフレ志向が当社の売上にも影響している。短期的には東南アジアのグループ各社から製品を輸入し対応する。更に、中国の消費者ニーズに対応すべく製造委託先確保を進め、Jagabee およびフルグラのローカライズした製品ラインナップも市場投入を準備しており、来期に向けた取り組みを始めている。

Q5 成長戦略で説明のあった海外事業の基盤作りの為の投資の進捗はどうなっているか。

海外各地域での投資は着実に進めている。北米ではマデラ工場での品質向上・原価低減の取組に加え、日本発ブランドの現地生産実現を目指す。中華圏は、足元の状況を踏まえて当初の目論見を変える必要があり、現地製造委託による供給に向けた取り組みを進めている。英国およびインドネシアでは規模は大きくはないが、ライン増設を実施している。

Q6 人件費は来期に向けて想定以上に上昇する懸念があるのか。

労務費は引き続き増加する見込み。また、社会情勢を踏まえ、人件費も一定程度の上昇は想定する必要があると考えている。

以上